

## 九州にあるスミレ各種

花名	有・無茎	花の色	葉・茎	特徴
タチツボスミレ 立坪堇	有茎	淡紫色	葉は長さ2cmの卵形（花が終わると2倍以上の大きさになる、葉はハート形	托葉はくしの歯状に深く裂ける 距はやや細長く、紫色を帯びる
ナガバタチツボスミレ 長葉立坪堇	有茎	淡紫色	茎葉は細長く三角状楕円形・根生葉はハート形。	托葉の裂け方がタチツボスミレより粗い
ニオイタチツボスミレ 匂立坪堇	有茎	濃紫色 紫紅色	根生葉は2~3cmの円心形 茎葉は三角状狭卵形	全体に白い短毛がある。花弁の基部の1/3位が白く花の中心が白く抜けて見える
コタチツボスミレ 小立坪堇	有茎	淡紫色	葉の基部が切型~浅い心形 <b>葉の鋸歯が粗く、尖っている</b>	タチツボスミレの変種
オオタチツボスミレ 大立坪堇	有茎	淡紫色	葉はタチツボスミレより丸みが強く 明るい緑色で葉脈は凹んで波打っている	タチツボスミレより大型で唇弁の紫色が すじが細かい網の目状になる。距は白い
アオイスミレ 葵堇	有茎	淡紫色	葉は円心形か心形 全草・実に毛が多い	上弁がウサギの耳のように立ち上がり側弁が前に突き出すものが多い
ニョイスミレ（ツボスミレ） 如意堇・坪堇	有茎	白色	葉は心形~腎形（仏具の如意に似ている） （スミレの中で花期の最も遅いもの）	距は短く、白か淡緑色 唇弁の紫状の筋が目立つ
キスミレ（イチゲキスミレ） 黄堇・一花黄堇	有茎	黄色	葉は粉をふいたような優しい緑色 茎の先に一輪ずつ咲かせる（2輪もある	*九州では中部の高地草に咲く（阿蘇等）
ツクシスミレ 筑紫堇	有茎	白~ 淡紫色	葉は三角状楕円形で基部は楔形	*沖縄や九州南部にある。花は小さく 花弁の中央が黄色で外側は淡紫色
オトメスミレ 乙女堇	有茎	白色	葉は心形	タチツボスミレの白花品で距に紫色が残る （距まで白いのは、シロバナタチツボスミレ）

\*有茎とは、地上茎が発達（地上茎が伸びて葉が互生

\*無茎とは、地上茎が発達せず葉や花柄が根本から出る。

花名	有・無茎	花の色	葉・茎	特徴
スマレ 堇	無茎	濃紫色	葉は束生し、長楕円形披針形で先は丸く <b>葉柄には広い翼がある</b>	<b>側弁の内側奥には白い突起毛がある</b>
コスミレ 小堇	無茎	白色～ 淡紅紫色	葉は卵形から長三角形で束生	<b>側弁の内側奥には毛がない。</b> * 側弁の基部に毛があるのはヒゲコスミレ
ノジスミレ 野路堇	無茎	淡紫色～ 紅紫色	葉は楕円状披針形でコスミレより細い 葉柄の翼はスマレほど目立たない	<b>全体に体毛が密にある。側弁の内側奥に毛が 無い</b> （毛があるのはオトコノジスミレ）
ウスゲスマレ 薄毛堇	無茎	淡紫紅色 ～紅紫色	<b>茎に毛がある。</b>	ナガバタチツボスマレとニオイタチツボ スマレの自然雑種
アリアケスマレ 有明堇	無茎	白色～ 紅紫色	葉は楕円状披針形で全体に無毛 <b>葉身が葉柄より長い</b>	<b>側弁と上弁は突起毛がある 距は短く太い</b> * 花の色に変化がある所から「有明の空」の例え
シロバナツクシコスミレ 白花筑紫堇	無茎	白色	葉は卵形から長三角形で束生	<b>コスミレの白品化（九州北部で見つかる）</b> * 側弁奥に毛があるものやないものがある
ヒメスマレ 姫堇	無茎	濃紫色	葉は濃緑色で <b>縁はやや凹んだ曲線で鋸歯 も鋭くやや光沢がある</b>	スマレよりやや小さく、葉柄に翼はない
シハイスミレ 紫背堇	無茎	淡紅色～ 濃紅紫色	葉は三角状狭心形で光沢あり、表面に しばしば斑がはいる	<b>葉の裏面が赤紫色を帯びている。</b> 葉の表面の 葉脈に沿って白い斑が入るのはフィリシハイスミレ
アカネスマレ 茜堇	無茎	淡紫紅色 ～紅紫色	葉は <b>スコップ形</b> の明るい緑色で基部は ハート形（ビロード状で短毛が密生）	<b>葉・花柄・顎・子房・果実や唇弁の距に 短毛が密生</b> （全体に毛がないのはオカスマレ）

参考文献：山溪ハンディ図鑑（野に咲く花、日本のスマレ）・九州の花図鑑・秋吉台で出会った花・他